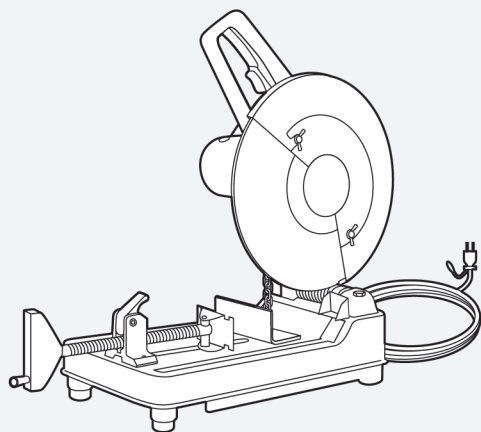


アースマンシリーズ

高速切断機 305mm CS-30A



取扱説明書

ご使用前に本紙最終ページ「保証書」の内容をご確認・ご了承ください。
また、取扱説明書の内容を十分理解した上で使用し、お手元に大切に保管してください。

目次

お使いになる前に 1

安全にお使い頂くために
電動工具を安全にお使い頂くために
本製品を安全にお使い頂くために

本製品について 8

本体各部名称・付属品
仕様

使用前の準備 9

作業を行う前の確認
試運転について

使い方 11

本体の移動方法
砥石の交換方法
固定バイスについて
スイッチ操作について
加工物の固定
切断方法

お手入れ 21

本体の点検
切断砥石の交換時期
カーボンブラシについて
清掃
保管

お買い上げの後に 23

保証書

お使いになる前に

安全にお使い頂くために

- 必ず取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。取り扱いに不慣れな人や正しい操作のできない人はお使いにならないでください。
- 本製品を正しく安全にお使いいただき、ご自身や周囲に危険が及ぶ可能性を防止するために、下記のように『警告』『注意』『◆』の

3種に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってお使いください。

また、本製品はDIY用として開発されています。一般家庭用としてお使いください。

- 『注意』に記載した事項でも状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

 警告	人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
 注意	人が損害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容
 注	製品や付属品の取扱いなどに関する重要な注意事項

電動工具を安全にお使い頂くために

警告

1. 作業場所はいつもきれいに保ってください。
 - 作業場所はいつも整理・整頓し、きれいに保ってください。
また、作業の妨げになる物は取り除いてください。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
 - 作業場は十分明るくしてください。
 - ガソリン・ガス・シンナー・塗料・接着剤など可燃性の液体やガスのある場所では使用しないでください。(爆発・火災の原因)
 - 濡れた所や湿気の多い所・雨中では使用しないでください。(感電・故障の原因)
3. 作業員以外を近づけないでください。
 - 特に小さなお子様は作業場や本製品に近づけないでください。
4. 作業に適した服装で作業してください。
 - 粉塵などが多く発生する作業では、保護メガネ・保護マスクを着用してください。
 - ヘルメット・ゴム手袋・滑り止めのついた履物などを着用し、作業に適した服装(すそじまりの長い長袖・長ズボン)で作業してください。
 - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は回転部に巻き込まれる恐れがあるので着用しないでください。
 - 長い髪は帽子などで覆ってください。
 - 作業音の大きい場合は、耳栓・耳覆い(イヤマフ)など防音保護具を着用してください。

5. 損傷した部品がないか確認してください。

- 使用前には必ず試運転を行い、本製品の破損・ゆがみ・異常音などがないことを確認してから作業してください。
- 本製品を誤って落としたりぶつけたときは、破損や亀裂がないことを確認してください。

6. 正しい付属品やアタッチメントを使用してください。

- この取扱説明書に記載されている付属品やアタッチメント以外のものは使用しないでください。また、取扱説明書に従って正しく取り付けてください。(部品脱落や故障によるケガの原因)

7. 調整や点検に用いた工具は必ず取り外してください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、調整・取り付けに用いた工具が取り外されている事を確認してください。

8. 作業に合った電動工具を使用してください。

- 小型の電動工具やアタッチメントは大型の電動工具で行う作業には使用しないでください。
- 指定された用途以外に使用しないでください。

9. 無理な使用をしないでください。

- 安全に能率良く作業するため、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- 足場の不安定な場所や無理な姿勢で作業しないでください。

10. 感電に注意してください。

- 濡れた手で組み立てたり、電源プラグを抜き差ししないでください。(感電の原因)
- 本製品の使用中に、身体をアース(接地)されているもの(エアコンの室外機、電柱の支柱など)に接触させないでください。(感電の原因)

11. 通気孔をふさがないでください。

- 本製品の通気孔は機体のモーターを冷やすために必要ですので、布などで覆ってふさがないでください。(火災の原因)

12. 使用電源は必ず本製品に表示されている電圧で使用してください。

- 100V用のものを200V用電源に接続して使用しないでください。(故障・破損の原因)
- 発電機やインバータ電源からの電源供給はしないでください。(故障の原因)

お使いになる前に(続き)

13. コードなどの取り扱いに注意してください。

- 使用する前に、必ず電源コード・電源プラグを点検してください。無理に引っ張ったり挟んだりしないでください。また、コードを熱い油・角のとがった所に近づけないでください。(火災・感電・故障の原因)
- 屋外で本製品を使用する場合は、防雨型延長コードを使用してください。
- コンセントから電源プラグを抜き差しする際は、必ず電源プラグを持って抜き差ししてください。(コード破損の原因)
- 作業者以外は本製品やコードに触れさせないでください。
- 感電防止のため、漏電遮断器を設置することをお勧めします。

14. 不意な始動はさせてください。

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。
- 本製品を移動する場合や付属品を交換する際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。また、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- 使用しない場合や、作動すると危険な場合は電源プラグをコンセントから抜いてください。

15. 材料を加工する工具では、加工物をしっかりと固定してください。

- 加工物(加工する材料)を動かす場合を除き、加工物はクランプや万力などで固定してください。手で加工物を保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。

16. 機体作動部には触れないでください。

- 作業中回転部やその付近に手や身体、顔を近づけないでください。(ケガの原因)

17. 作動している状態のまま放置しないでください。

18. 油断せず、十分注意して作業してください。

- 電動工具を使用する場合は、取扱方法・作業の仕方・周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。
- 疲れていたり、体調のすぐれないときは使用しないでください。

19. ヤケドに注意してください。

- 作業直後は、本体(モーター)や加工物が熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないようにしてください。

20. 定期的に点検してください。

- 電源プラグ・通気孔にほこりや粉塵などが付着している場合には、よく取り除いてください。(火災・故障の原因)

21. 使用しないときはきちんと保管してください。

- 使用しないときは、直射日光の当たらない・風通しの良い・乾燥した場所で、小さなお子様の手の届かない安全な所、またはカギのかかる所にきちんと保管してください。

22. 分解・改造をしないでください。

- 本製品にはいかなる改造も加えないでください。指定のパーツや純正品を使用してください。

23. ご自分で修理しないでください。

- 故障・異常時はただちにスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて作業を中止し、お買い求めの販売店にお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 修理の知識や技術のない方が修理すると十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やケガの原因となります。

この取扱説明書は大切に保管してください。
また、他の人に貸し出す場合は、この取扱説明書も一緒に渡してください。

お使いになる前に(続き)

⚠ 注意

1. 延長コードを使用する場合

- 延長コードが必要な場合は、目安として本製品の電源コードと同じ被覆で同じ太さ以上のものを使用してください。
- コード長さにつきましては下の表を参照してください。

コードの太さ (導体公称断面積)	銘板記載の定格電流値で使用できる最大の長さ		
	～5A	5～10A	10～15A
0.75mm ²	20m	—	—
1.25mm ²	30m	15m	10m
2.0mm ²	50m	30m	20m

- ドラム式の延長コードを使用する場合は、発熱による電圧降下や火災事故を防止するため、コードは全て引き出して使用してください。

2. 本製品は短時間の使用を前提に設計されています。

- 長時間の連続作業はしないでください。(故障・破損の原因)

3. 騒音に注意してください。

- 法令および各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけるような状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。

4. 作業後の加工物に注意してください。

- 作業直後の加工物は熱くなっていることがあります。冷えるまで直接手肌に触れないでください。(ヤケドの原因)
- 作業後の加工物には、かえりができていることがありますので注意してください。(ケガの原因)

5. こまめに手入れしてください。

- 安全に能率よく作業するために刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
- 本製品は定期的に点検し、損傷している場合は、お買い求めの販売店に修理をお申しつけください。または(株)高儀「お客様相談窓口」に相談してください。
- 本製品に油やグリスが付着した場合は、柔らかい布で、から拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。
- ワックス・アルコール類・シンナー・ベンジンなどは使用しないでください。(故障・破損の原因)

6. 高所作業のときは、下に人がいないことをよく確認してください。

また、コードを引っ掛けたりしないでください。

7. その他

- 火のそばや閉め切った車内・直射日光の当たる場所・高温になる場所には放置しないでください。変形・変色・劣化の恐れがあります。

本製品を安全にお使い頂くために

⚠ 警告

1. 使用電源は必ず銘板に表示してある電圧で使用してください。
 - 100V用のものを200V用電源に接続して使用しないでください。
 - 発電機やインバーター電源からの電源供給はしないでください。
2. 感電防止のため、アースクリップを必ず接地してください。
 - 電源は必ずアース端子のついているものを使用してください。
 - ガス管への接地は絶対にしないでください。
 - アース端子のない場合やアースの埋め込みなどは専門の電気工事に相談してください。
3. 砥石は必ず指定の切断砥石を使用してください。
 - 木工用刃を取付けての木材切断はできません。
4. ホイルカバーなどの安全保護装置を必ず取り付けて使用してください。
5. 砥石の側面は使用しないでください。
6. 砥石にヒビや割れが無いことを確認してから使用してください。
7. ガソリン・ガス・塗料・接着剤などの引火・爆発の恐れがある場所では絶対に使用しないでください。
 - 作業中切削粉が火花となって飛散しますので、引火・爆発の恐れがある物や傷つきやすい物は安全な場所に遠ざけてください。また、火花を直接手肌に当てないでください。
8. 水や、研削液などを使用しないでください。
9. 使用中は砥石に身体を近づけないでください。
10. 砥石を交換する場合はこの取扱説明書の手順に従って確実に行ってください。
 - 砥石を交換する際は取り付け面、シャフト、フランジなどの切削粉を必ず拭き取ってください。切削粉が原因で砥石の締め付けが不十分になる場合があります。
 - 必ず付属の工具で正しく締付けてください。
11. スイッチ固定ボタンは必要な時以外は必ず解除してください。
12. 作業は砥石の回転が完全に上昇し、安定した事を確認してから行ってください。
13. ベースに固定できない小さなものの切断は危険ですので、おやめください。
14. 【事業者の方へ】
 - 砥石の交換・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。

お使いになる前に(続き)

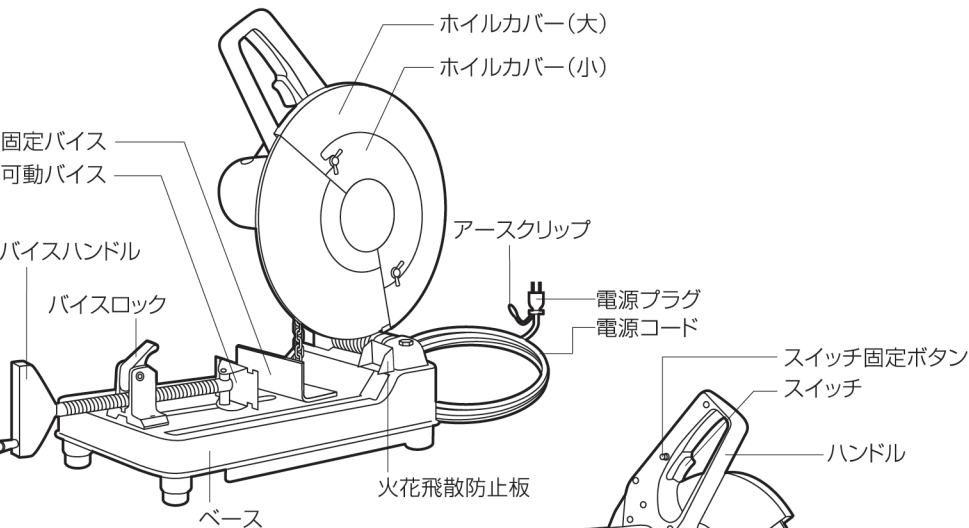
本製品を安全にお使い頂くために

注意

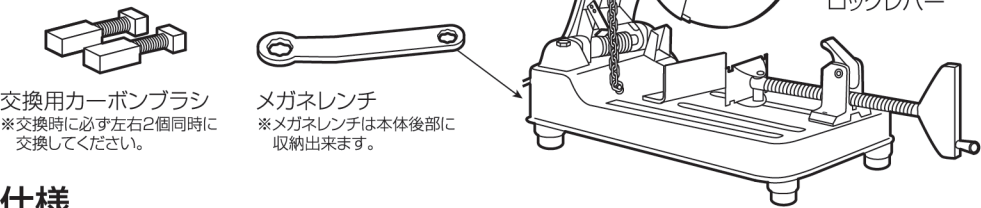
1. 必ず安定した場所で作業してください。
2. 砥石や付属品は、取扱説明書に従って確実に取り付けてください。
3. 新しい砥石を取り付け初めて、スイッチを入れる時は、砥石の正面位置から必ず一時身体を避けてください。
4. 必ず試運転をしてください。
5. 砥石は、水分や湿気のない乾燥した場所に保管してください。
6. 無理に砥石を加工物に押し付けないでください。
7. 指定以外の刃物(丸のこ刃・チップソーなど)を取り付けての作業はしないでください。
8. 法令及び各都道府県などの条例で定められた騒音防止規制を守り、周辺に迷惑をかけないように状況に応じて遮音壁を設けるなどして規制値以下で使用してください。
9. 常温(0℃～40℃)で使用してください。

本製品について

本体各部名称



付属品



仕様

電 圧	AC100V	最大切断幅(90°)	丸パイプ／約φ90mm 角パイプ／約85×85mm L 型 鋼／約70×70mm
周 波 数	50／60Hz	角度切り範囲	右0～45° 左0～30° ※
電 流	14.5A	本 体 サ イ ズ	約長さ580×幅270×高さ620(mm)
消 費 電 力	1400W	コ ー ド 長	約2m
回 転 数	約4400min ⁻¹	質 量	約14.5kg
砥 石 周 速 度	約70m/s (約4200m/min)	定 格 時 間	30分
バイスつかみ幅	1段目／約 0～160mm 2段目／約30～195mm		

※固定バイスの開き幅を大きくしますと左の角度切りはできません。

〈付属切断砥石〉

砥 石 サ イ ズ	外径 φ305×厚さ 2.5×穴径 φ25.4mm	粒度・硬度	46P
材 質	WA材	最高回転数	4,510min ⁻¹
		最高周速度	72m/s(4,320m/min)

使用前の準備

作業を行う前の確認

1. 使用電源を確認してください。

- 必ず本製品に表示してある電圧で使用してください。

⚠ 警告

- 発電機や一般家庭用商用電源以外での使用はしないでください。

2. 電源プラグをコンセントに差し込む前に、スイッチが切れていることを確認してください。

⚠ 警告

- 不意に本体が起動すると危険な場合は必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

3. 砥石を確認してください。

- 砥石にヒビ・割れや面振れなどの異常が無いことを確認してから使用してください。
- 砥石の取り付けを確認してください。

⚠ 警告

- 砥石に異常があると砥石が破壊し、ケガの原因となります。
- 砥石の取り付けが十分でないと、思わぬ事故の原因となります。必ず取扱説明書に従って確実に取り付けである事を確認してください。
- 砥石軸を付属のメガネレンチで切断する砥石の回転方向に回して、砥石に振れがないか確認してください。

4. ホイルカバー・火花飛散防止板がきちんと取り付けられているか確認してください。

- 切断時の火花飛散防止、砥石が破壊した時の飛散から身を守るためのものですので絶対に外して使用しないでください。

⚠ 警告

- ホイルカバー・火花飛散防止板は必ずきちんと取り付けで使用してください。

5. 調整や取り付けに使用した工具やシャフトロックレバーが完全に外れているか確認してください。

⚠ 警告

- 工具が取り外されていなかったり、シャフトロックレバーが外れていないと故障や思わぬ事故の原因となります。

6. 使用前に必ず試運転を行ってください。

⚠ 警告

- 電源プラグをコンセントに差し込むときは、スイッチが切れていることを確認してください。
- 電源スイッチを入れるときは、機体の砥石が加工物などに接触していないことを確認してください。
- 新しい砥石を取り付け、初めてスイッチを入れるときは、人のいない方向に砥石正面位置を向けて砥石に異常が無いことを確認してください。

試運転について

- 砥石を交換したとき……………3分以上
- その日の作業始めのとき…1分以上

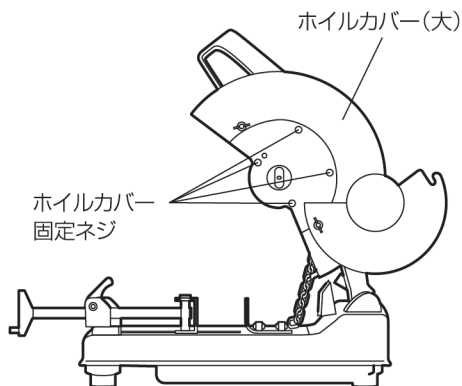
⚠ 注意

- 新しい砥石を取り付け後、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の正面位置から必ず一時身体を避けてください。

注

- 切断砥石はあらかじめ工場で取り付けしていますが、危険を防止するために必ず取り付け状態・緩み・ひび割れ・破損がないか確認してください。
- ホイルカバーが緩んだ状態で使用すると、非常に危険です。使用する前に必ず緩みがないことをご確認ください。

ホイルカバー(大)が緩んでいましたら、P12～14「砥石の交換方法」を参照に締め付けボルトを外し、ワッシャー・フランジ・砥石を外して、ホイルカバー(大)内側のホイルカバー固定ネジ4カ所を締め直してください。



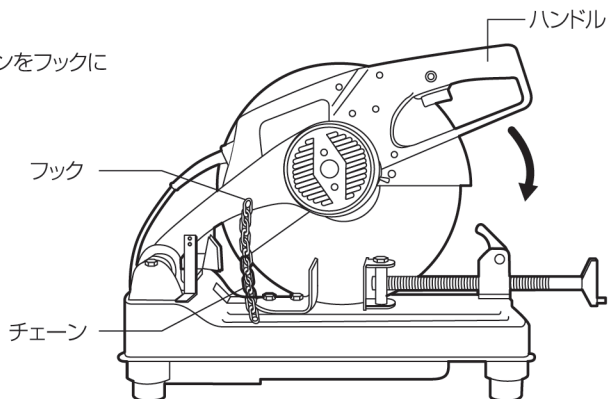
使い方

本体の移動方法

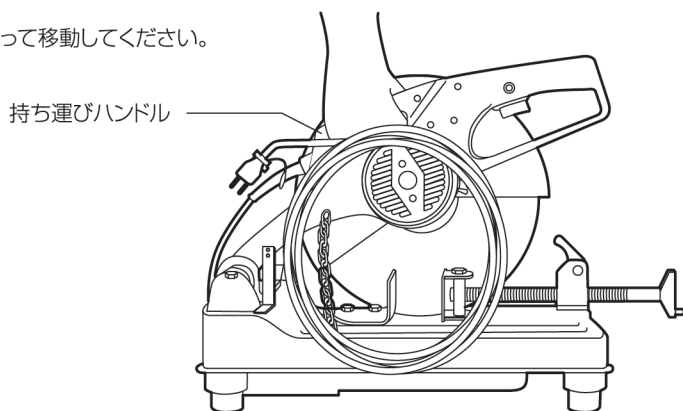
⚠ 警告

- 本体を移動する場合は、必ずスイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 使用直後はモーターが熱を持っている場合があります。温度が下がってから移動してください。

1. ハンドルを下げた状態でチェーンをフックに引っ掛けてください。



2. 持ち運びハンドルを持って移動してください。



※移動のとき以外は、チェーンをフックから外してください。

砥石の交換方法

⚠ 警告

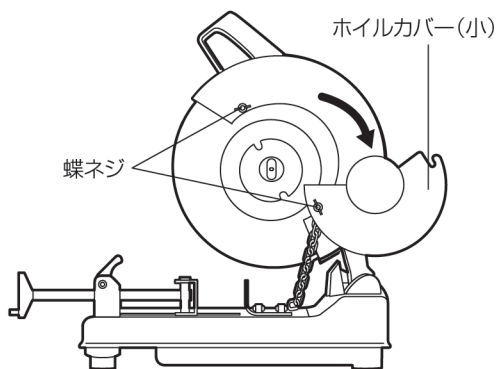
- 砥石の交換をする際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 砥石の交換をする際は、取り付け部分などに付着した切削粉などをきちんと拭き取ってください。切削粉などが原因で砥石を取り付ける締め付けが、不十分になる場合があります。
- 砥石は必ず指定の切断砥石を使用してください。

◆ 注

- チェーンをフックにかけ可動部を固定している場合は、ハンドルを下へ押しとめているチェーンを、フックからはずしてください。
- シャフトロックレバーは固定される位置が決まっています。シャフトロックレバーを押しながらメガネレンチで締め付けボルトを回していくと「カチッ」とシャフトが固定される位置があります。

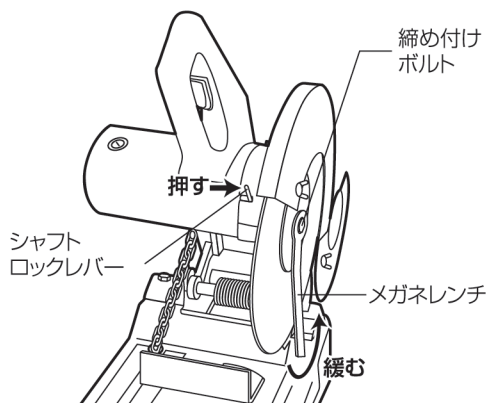
砥石の外し方

1. 蝶ネジ(2ヶ所)を緩め、ホイルカバー(小)を後方にスライドさせてください。



2. シャフトロックレバーを押しながら付属のメガネレンチで締め付けボルトを回してシャフトを固定し、緩めて砥石を外してください。

※ シャフトロックレバーは固定される位置が決まっています。シャフトロックレバーを押しながらメガネレンチで締め付けボルトを回していくと「カチッ」とシャフトが固定される位置があります。



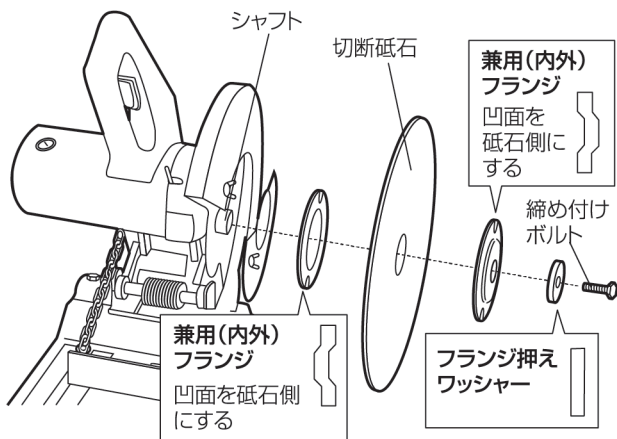
使い方(続き)

砥石の取り付け方

⚠ 注意

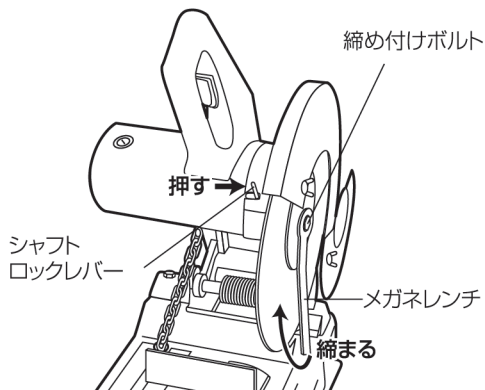
- ホイルカバー(大)が確実に固定されている事を確認してください。
- 各部品の取り付け向きに注意してください。

1. 取り付け向きに注意しながらシャフトへ右図イラストのようにセットし、仮締めしてください。



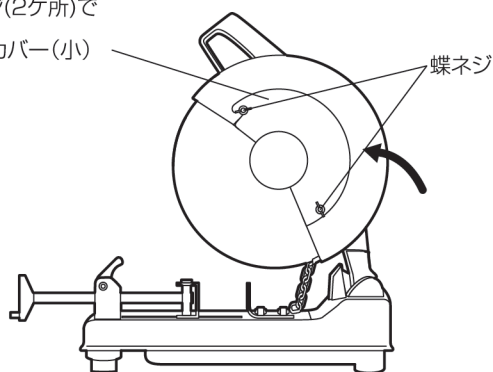
2. シャフトロックレバーを押しながら、付属のメガネレンチで締め付けボルトを回してシャフトを固定し、確実に締めてください。

※シャフトロックレバーは固定される位置が決まっています。シャフトロックレバーを押しながらメガネレンチで締め付けボルトを回していくと「カチッ」とシャフトが固定される位置があります。



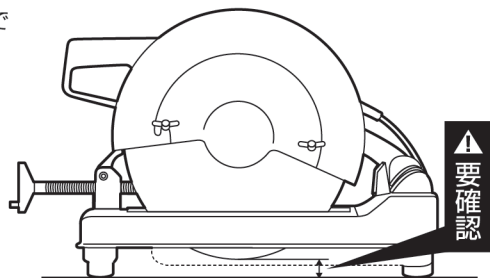
3. ホイルカバー(小)を元の位置に戻して蝶ネジ(2ヶ所)で確実に締めてください。

ホイルカバー(小)



⚠ 注意

- 砥石の取り付け後、電源プラグを抜いた状態で本体を振り下げた際、床などに砥石が当たらないことを確認してください。



使い方(続き)

固定バイスについて

⚠ 警告

- 固定バイスを移動させた場合は必ずボルトを確実に締め付けてください。作業中にバイスが動くと大変危険です。

注

- 固定バイスの開き幅を大きくすると右図斜線側(0~30°側)の角度切りはできません。

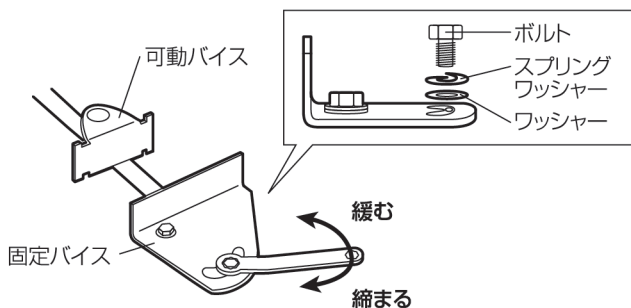


2段階バイスについて

固定バイスを移動することにより、開き幅を2段階に調節できます。

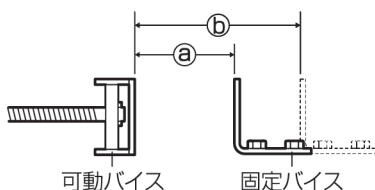
● 固定バイスの移動方法

付属のメガネレンチで固定のバイスのボルト(2ヶ所)を外し、加工物のサイズにより最も適した位置に移動し、ボルト・スプリングワッシャー・ワッシャーで確実に取り付けてください。



● バイス開き幅

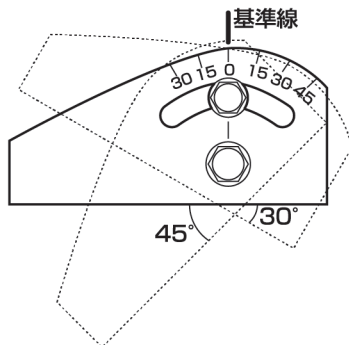
- ① 約0~160mm
- ② 約30~195mm



角度切り

固定バイスのボルト(2ヶ所)を付属のメガネレンチで緩め、角度メモリを参考に基準線に合わせ、ボルトを確実に締めつけてください。

傾斜角度…右0~45°
左0~30°



※角度目盛りは参考値です。

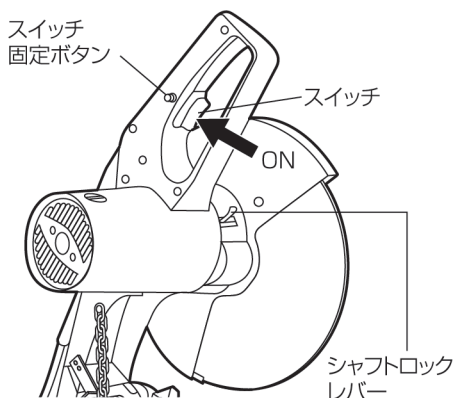
スイッチ操作について

⚠ 警告

- 電源プラグをコンセントに差し込む前に、必ずスイッチ固定ボタンが解除になっているか確認してください。
- シャフトロックレバーが完全に外れていることを確認してからスイッチを入れ1分以上、砥石を交換した時は3分以上、人のいない方向に砥石を向けて回転させ異常や砥石の回転にブレがないか必ず確かめてください。
- 大変危険ですので作動している状態のまま放置しないでください。
- スwitch固定ボタンは、必要以外の時は必ず解除してください。

スイッチについて

1. シャフトロックレバーが完全に外れていることを確認します。
2. スwitch引金を引くと「ON」
3. スwitch引金を放すと「OFF」

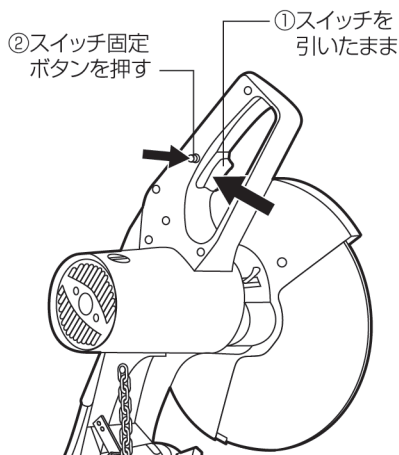


使い方

スイッチ固定ボタンについて

スイッチを引いた状態のまま固定させます。

- ① スwitch引金を引いたまま
- ② スwitch固定ボタンを押します。



解除する場合

再度スイッチ引金を引くと固定ボタンは解除になります。

使い方(続き)

加工物の固定

⚠ 警告

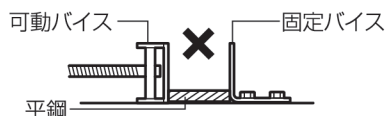
- 砥石を回転させたまま加工物の取り付け・取り外しをしないでください。
- 加工物は、本体付属のバイスで確実に固定してください。
- 加工物はベースにしっかりと付いた状態にしてください。
- ベースに固定できない小さなものの切断は、危険ですのでおやめください。

加工物の置き方

● 平鋼

⚠ 注意

- 平鋼を右図のように固定しないでください。
平鋼がバイスから外れケガの原因になります。



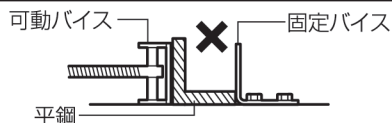
右図のように平鋼を固定してください。
固定方法は「加工物の固定方法」を
参照してください。



● アングル鋼・チャンネル鋼

⚠ 注意

- アングル鋼を右図のように固定しないでください。
アングル鋼がバイスから外れケガの原因になります。



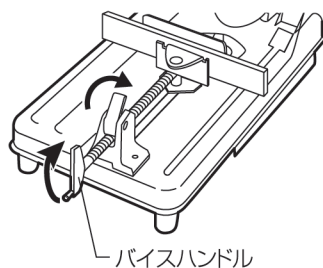
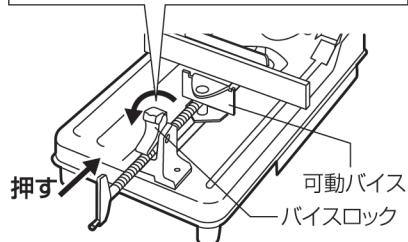
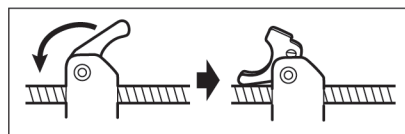
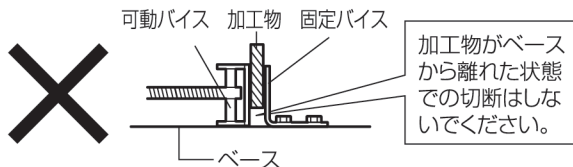
アングル鋼・チャンネル鋼は下図のように固定してください。
固定方法は「加工物の固定方法」を参照してください。

アングル鋼		チャンネル鋼

加工物の固定方法

1. 加工物のサイズ、希望の切断角度により、適切な位置に固定バイスを移動・調整してください。(P15.固定バイスについて参照)調整後、可動バイスと固定バイスの間に加工物を挟んでください。バイスロックを上げてから可動バイスを押して移動します。
2. 加工物を確実に固定するために加工物に可動バイスが当たったら、バイスロックを下げてバイスハンドルを右に回し、確実に締め、加工物が動かないことを確認してください。

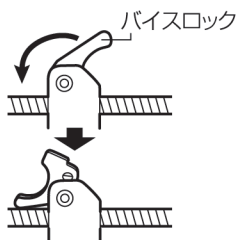
※加工物はベースにしっかりと付いた状態にしてください。



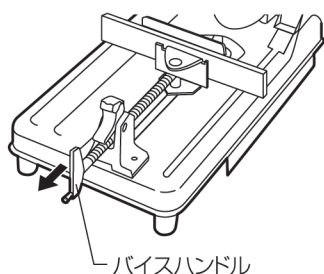
バイスの外し方

切断作業が終了したらバイスハンドルを2～3回左に回して緩めバイスロックを上へ上げてからバイスハンドルを手前に引いてください。

- ① バイスハンドルを2～3回緩めた後バイスロックを上げる。



- ② バイスハンドルを引く



使い方(続き)

切断方法

⚠ 警告

- 作業中は必ず保護メガネ・保護マスク・防音保護具を着用してください。
- 砥石に割れや異常が無いことを確認してから使用してください。また使用中に異常が発生した場合は、直ちに使用を中止してください。
- 必ず試運転をしてから作業してください。
- 作業は砥石の回転が完全に上昇し、安定したことを確認してから行ってください。
- スイッチを入れるときは、砥石が加工物などに接触していないことを確認してください。接触している状態でスイッチを入れますと、砥石の破損・ケガの原因になります。
- 切り落とした加工物・切削粉は高温になりますので、素手で触らないでください。
- 油などを付けて切断しないでください。
- 切断中は多量の火花、切削粉などが飛びますので、ヤケド、ケガ、火災などに注意してください。
- ハンドルを急激に押し下げて、砥石を加工物に強く当てないでください。
砥石の回転が止まった状態のまま、スイッチを入れ続けると短時間で、モーター故障の原因となります。

⚠ 注

- チェーンをフックにかけ可動部を固定している場合は、ハンドルを下へ押しとめているチェーンをフックからはずしてください。
- 火花が一番多く出る状態が、切断砥石やモーターに無理がかからず一番能率良く切断できます。無理に押し付けると作業能率が悪くなるばかりか機械の寿命を縮めます。
- 切断時間が1分以上かかる場合は、途中で切込みを止め10～20秒無負荷で運転して、モーターを冷却しながら作業してください。

1. 本体を平らで安定した場所に設置してください。
2. 加工物をバイスにしっかりと固定してください。
3. 砥石を加工物から離してスイッチを入れてください。
4. 砥石の回転が完全に上昇し、安定したことを確認してからゆっくりとハンドルを押し下げて、切断を開始してください。
5. 切断作業が終わったらスイッチを切り、砥石の回転が完全に停止してからハンドルを持ち上げてください。
6. 加工物を熱に注意しながらバイスから取り外してください。

お手入れ

⚠ 警告

- 点検、手入れの際は必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。

本体の点検

- 作業前・後に本体各部のネジが緩んでないか確認してください。緩んでいる場合は必ず使用前に締めなおしてください。緩んだままお使いになると大変危険です。
- モーター内部にたまったごみや切削粉は定期的に本体を無負荷で回転させ、風穴から湿気のない空気を吹き込んで取り除いてください。

切断砥石の交換時期

切断砥石は消耗品です。交換の目安は切断砥石の直径が約150mm～200mm位で交換するようにしてください。

※切断砥石の交換時は、亀裂の有無を確認し、亀裂の入っているものは絶対に使用しないでください。

※切れ味が悪くなったものを使用するとモーターに無理をかけることになり、また効率も落ちますので早めに新品と交換してください。

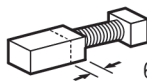
カーボンブラシについて

注

- カーボンブラシは2個で1組となっています。取り替える場合は、必ず2個同時に行ってください。
- 交換用カーボンブラシのお買い求めは、購入店にてお問い合わせください。

交換方法

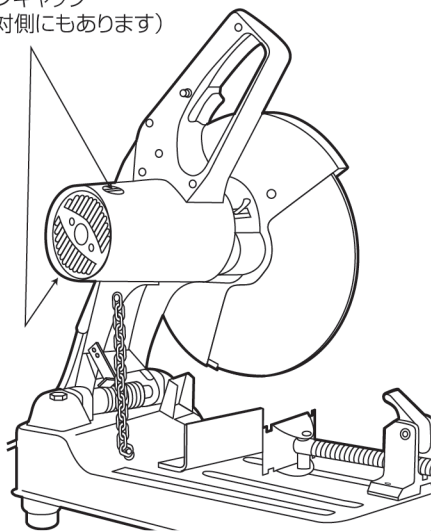
1. ブラシキャップをドライバーなどで取り外し、中のカーボンブラシを取り出してください。
2. カーボンブラシをチェックし、約6mm以下に磨耗していれば交換してください。



6mm以下になったら交換

3. カーボンブラシをチェックした後は、元のようにセットし、ブラシキャップをしっかりと取り付けてください。

ブラシキャップ
(反対側にもあります)



お手入れ(続き)

清掃

注意

- 本体のお手入れに、ワックス、アルコール類、シンナー、ベンジンなどはお使いにならないでください。(破損・故障の原因)
- 製品に油やグリスが付着した場合は柔らかい布で、から拭きしてください。
- 汚れの著しい場合は、薄めた中性洗剤を使用して水拭きしてください。その後、乾いた布で水分が残らないように拭き取ってください。

保管

注

- 移動のとき以外は、チェーンをフックから外してください。

長時間使用されないときは、直射日光の当たらない・風通しのよい・乾燥した・お子様の手の届かない所にきちんと保管してください。

MEMO

保証書

販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物(販売証明書やレシートなど)が添付されていない場合、本書は無効となり、保証期間内であっても有料修理となります。必ずご確認ください。

- 保証期間内において取扱説明書などの注意書に従い、正常な使用・保管状態で故障した場合、本書により無償で修理致します。
- 保証期間内に故障して無償修理をお受けになる場合には、商品と本書に販売証明を付けた物をご持参のうえ、お買い上げの販売店にご依頼ください。

品名	EM 高速切断機305mm			お買い上げ日	年 月 日
型式	CS-30A	JANコード	4907052 553033	保証期間	お買い上げ日より6ヶ月
販売店	販売証明書やレシートなどを添付してください。				

1. 本書はお買い上げ商品にのみ適用されますので、一切の工事費用などは適用外となります。
2. 保証期間内でも次の場合は有料となります。
 - 使用上の誤りおよび不当な修理・改造による故障および損傷。
 - お買い上げ後の輸送・移動・落下などによる故障および損傷。
 - 火災・地震・水害・落雷・その他の天災・異常電圧による故障および損傷。
 - 業務用およびそれに準ずる使用をされて生じた故障または損傷。
 - 本書の提示がない場合。
 - 本書に販売店名・お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字を書き替えられた場合、個人販売など販売店が不明な場合。
3. 本書は付属品・消耗品には適用されません。
4. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
5. 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
6. この保証書は、本書に明示した期間・条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。
7. 保証期間経過後の修理については、お買い上げの販売店にご相談ください。
 - 修理可能な場合は、お客様のご希望により有料で修理させていただきます。

保証規定

発売元  株式会社 高儀

製品性能・品質・取り扱いに関するお問い合わせは…

株式会社 高儀
お客様相談窓口

TEL 0258-66-1233

受付時間 AM9:00～PM5:00(土日祝日および弊社休日を除く)

修理(見積り含む)および別売品などの購入は、お買い上げの販売店にご依頼ください。上記相談窓口では直接対応はできません。あらかじめご了承ください。

■お客様相談窓口における個人情報の取り扱い

弊社は、お客様へのサービス提供のため、収集目的を通知したうえで必要な範囲の個人情報や相談内容を集約させていただきます。その記録を残すことがありますが、個人情報を適切に管理し、修理業務などのサービスを行うために必要な範囲内で開示する場合や、正当な理由がある場合を除き、第三者に提供しません。